

## 第628回番組審議会報告

2018年5月8日開催

### ■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長(書面) 今井美樹委員 太平信恵委員  
津村記久子委員 東野博昭委員 細見良行委員 丸山雅也委員

### ■毎日放送出席者

三村社長 梅本専務 木田常務 浜田取締役  
磯澤報道局長 田中プロデューサー  
大牟田コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長

### ◆審議事項

#### 1. 報告事項

##### ①「予約殺到！スゴ腕の専門外来スペシャル」週刊誌報道について

4月発売の『週刊文春』に、2015年と16年にMBSが制作、放送した単発番組「予約殺到！スゴ腕の専門外来スペシャル」をめぐって、広告と明示せず特定商品の宣伝をするいわゆる「ステルス・マーケティング」があったのではないかという疑惑が報じられた件についてコンプライアンス室長が報告。「番組そのものをめぐる金銭のやりとりはなく、ステマには当たらない」旨、説明した。また、この記事についてBPO(放送倫理・番組向上機構)の5月11日の放送倫理検証委員会で報告されることになり、MBSから報告書を提出したことについても説明した。

##### ②「教えてもらう前と後」での写真取り違え、「元神戸市議による詐欺事件報道の映像誤使用」について

1月9日放送の「教えてもらう前と後」で、皇后様のご成婚前とご成婚後の写真を取り違えた件と、昨年12月下旬からことし2月にわたって、裁判所に入る被告の元神戸市議の映像を4回にわたって別人の映像と取り違えていた件の二件がBPOの放送倫理検証委員会の討議対象となっていたが、原因究明がされており具体的な再発防止策がとられていることから討議が終わり、審議入りしなかったことを報告した。

#### 2. テレビ番組『VOICE』

(2018年4月16日(月)～20(金)18:15～19:00 放送)

について意見交換した。

【各委員の主な意見は次の通り】

- \*番組を生で“ながら視聴”で見ると、いろんなネタが多過ぎて入ってこなかったと言うか、盛りだくさん過ぎて記憶に残らなかった。
- \*「貝殻を不法投棄していた海産物卸売業者を逮捕」という通常のニュースを、「憤懣本舗」のコーナー企画として放送していたのは、違和感があった。
- \*兵庫県篠山市で「丹波篠山市」に名前を変えて欲しいという声が上がっているという話と、大阪都構想で浮上している「東西区」の区名が妥当かどうかという話が同列でまとめられていたが、この二つは違う話だと思う。
- \*キャスターの西靖アナウンサーとコメンテーターの名前は読み上げられるのに、横にいる女性キャスターは読み上げられず、テロップだけというのが気になった。
- \*ローカルニュースがすごく充実しているので勉強になり、近所の話題をリードできる。そういう意味で「VOICE」はいい番組だ。
- \*ニュースの項目がずっと画面の右に出ているので、非常に見やすい。
- \*お天気コーナーにも西アナウンサーが出ているが、気象予報士の広瀬駿さんだけでもいいし、むしろ、出番の少ない女性キャスターが広瀬さんの相手をしてもいいのでは？
- \*特集VTRが終わって画面がスタジオに戻ってもBGMがかかっているが、あのBGMは耳障りでスタジオのトークの邪魔になるように感じた。
- \*全体に西アナウンサーのしゃべる場面が多く、もう少しコメンテーターの話が聞きたい。
- \*金曜日の特集「山中経済研究所（YKK）」は、「研究所」という割には山中アナウンサーが歩いてしゃべっているだけで分析も何もない。「ち

ちんぷいぷい」のコーナーのようでタイトルと内容が合っていないように思う。

- \* 「山中経済研究所」は、山中アナウンサーが取材先をありのままに紹介していくのが見やすい。分析とか解釈とかは不要で、とりあえず現状はこうなんだみたいなのが流れで見られるのが面白い。
- \* このごろのニュース番組はバラエティ化してきて、必ずお笑いタレントを起用していることに疑問があった。「VOICE」は全く硬派な番組づくりで、本当に好感が持てる。
- \* キャスターとしての西アナウンサーの対応力とバランス感覚のよさに感心した。
- \* 関西のニュースをしっかりと掘り下げて取り上げる、中身の濃いニュース番組だ。伏見稻荷のカラスが原因の火災を番組冒頭で“つかみ”として取り上げるなど、構成もよく考えられている
- \* 夜9時以降に「VOICE」を放送してもらえれば、毎日見るに値する番組だと思う。
- \* すばらしい取材がいっぱいあるので、例えば週末に「VOICE特集」とか、できないものか。それくらい知らしめてもいいような力の入った番組だと思う。
- \* 月曜は「憤懣本舗」、金曜は「山中経済研究所」というコーナーがあるのに、火・水・木はタイトルを冠したコーナーがないのはなぜか？
- \* ニュース項目を複数あげて画面で見せているが、中には全く紹介せず、次のコーナーに行くことがある。時間の関係だと思うが、心地よくないので何らかの扱いをして欲しい。
- \* 社会更生中の青年と彼を見守る「良心塾」の責任者を取材していたが、取材者と被取材者との信頼関係がなければ出来ない企画だと思う。
- \* 「良心塾」の話は「映像'18」で扱ってもいいくらいの内容ではないか。「映像'18」で取り上げるのなら予告してもいいのではないか。

## 【番組制作者側の説明、質問への回答】

- \* 「貝殻を不法投棄していた業者を逮捕」の話は、実は去年の夏ぐらいに一度、「憤懣本舗」で扱った。それが事件化されることになったので、「憤懣本舗」でもう一度取り上げた。ただそれはつくり手側の事情が優先した形で、確かに「憤懣本舗」にはふさわしくなかったかもしれない。
- \* 女性サブキャスターの名前をなぜ読まないのか。サブキャスターとコメンテーターは2人同時にテロップを出して、そのうちコメンテーターは毎日日替わりなので名前を読み上げるということをしていたが、確かに、女性サブキャスターの名前を読むことを考えたほうが良いと思う。
- \* 「憤懣本舗」や「山中経済研究所（YKK）」のように、特集に冠タイトルをつけると、その内容にしばられてしまい、幅を狭めることになりかねない。今伝えるべきことを伝えなければいけないと思い、「憤懣本舗」と「山中経済研究所（YKK）」を月・金に置いている。
- \* 「映像'18」のドキュメンタリーをやるということが決まった上で「VOICE」で先出しをするというケースもあるが、「良心塾」については「VOICE」で放送した内容が非常に良いということになって、それをドキュメンタリーに発展させるというケースなので、この放送時にはまだ番組化は決まっていなかった。

以上